



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
**中央区社協事務所（中央区社会福祉協議会）**  
 福岡市中央区大名 2-5-31 中央区役所 1 階  
 TEL: 092-737-6280 FAX: 092-737-6285  
 Eメール: chuouku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会  
 マスコットキャラクター  
 ここと

## ワークショップが始まりました!

### ～災害時に連携して助け合うために～

災害時に要支援者の安否確認や避難誘導を迅速に行うためには、自治会・町内会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の避難支援等関係者間の連携が鍵を握ります。

中央区では、令和4年度に、避難支援等関係者間の連携体制づくりと、支援者との顔が見える関係づくりを目的に「個別避難計画作成ワークショップ」を全14校区・地区で開催します。要支援者一人ひとりの避難方法を記載した個別避難計画を事前に作成しておくことで円滑な避難支援につながります。

当仁校区では、9月10日に第1回目のワークショップが行われました。連携のための体制づくりや、個別避難計画作成をどのように進めていくか、草ヶ江校区の事例を聞きながら検討しました。当仁校区自治協議会の高橋会長は「いつ災害が起こるか分からないので、事前の準備が必要。複数回のワークショップを予定しているので、地域が連携して助け合う仕組みを構築したい」と話されました。



# みんなで一緒に楽しく交流する場

## 「つくってたべてはなす会」開催

中央区では、子どもから高齢者まで、誰でも気軽に立ち寄って交流できる居場所づくりが広がっています。サルヴァトーレ赤坂1階(中央区赤坂)で開催されている「つくってたべてはなす会」はその一つです。その名前の通り、料理をみんなで作って、一緒に食べて楽しく話す会で、通称“ツクタベ”と呼ばれています。

ツクタベは「一緒にやれば何かわかる何とかなる」をキャッチコピーに、毎月第2日曜日の11時から開かれています。子どもは無料、大人は参加費500円で利用できます。

子どもから高齢者までどんな人でも参加ができることと、認知症の方もツクタベの一員としての役割を持ち、集える場としても利用できることが会の特徴です。

本格実施となってから3回目となる令和4年7月には、認知症当事者や支援者だけでなく、子どもや大学生も参加し、みんなで冷やし中華とフルーツ白玉を作りました。



代表を務める森本剛さんは「いつ来ても、いつ帰っても大丈夫。作るだけ、食べるだけ、話すだけ、どんな人でも大歓迎です。みんなにとって“ここに居ていいんだ”という居心地の良い空間になれば嬉しい」と話していました。

【参加申込み・お問合せ】

☎080-1538-9177

(三丁目の花や 森本)

✉ tsukutabetalk@gmail.com

公式LINEでツクタベに関する情報発信を行っています。



ツクタベ公式LINE QRコード



## 賛助会員へのご加入ありがとうございました

令和4年6月～令和4年8月にご加入いただいた方々です。(順不同・敬称略)  
中央区で実施する事業に大切にに使わせていただきます。

～中央区社協が進める地域福祉活動にご賛同いただいた皆様～

個人 1口 500円  
法人・団体 1口 10,000円

【大名地区】	溝上 ひとみ	【箕子地区】	仲里 美佐子
江頭 克代	三原 照敏	箕子自治連合会	諸藤 京子
内林 潤一	仲野 喜代子	【当仁校区】	【草ヶ江校区】
新飼 和江	【赤坂校区】	当仁校区社会福祉協議会	畑中 文花
半田 佐由里	水早 一郎	【高宮校区】	【事務局扱い】
井上 鴻一	【舞鶴地区】	高宮校区社会福祉協議会	西川株式会社ネーブルハウス
有吉 正喜	舞鶴社会福祉協議会	占部 操子	福岡事業所



## ☆使用済み切手を集めています☆



中央区社協では、使用済みの切手を集めています。集まった切手は、ボランティアによって整理されます。整理された切手は、福岡市社協で集約した後、業者に買い取ってもらい、貸出用車いすの購入費用等に充てています。枚数を数えたり、種類をそろえたりする必要はありません。使用済み切手がありましたら、是非とも中央区社協までお持ちください。

どんな切手がいいの？

- 消印付きの使用済みのもの
- 切手の周り(余白)が1cm以上あるもの
- 破れたりしておらず破損がないもの

